

**2008  
42**

「忘れ得ぬ9.28災害 災害誌(美濃加茂市)」より

## 9.28災害を振り返り

1983(昭和58)年、美濃加茂市や坂祝町などで未曾有の浸水被害を招いた、あの9.28災害から25年が経過しました。この間、国土交通省中部地方整備局では、再度の災害発生を防ぐべく木曾川の堤防や護岸を整備すると共に、丸山ダムの洪水調節機能の強化を目的に、新丸山ダムの建設事業に取り組んでまいりました。

一方、近年では地球温暖化に伴う気候変動が危惧されています。今年の降雨の状況を見ても、短期間に集中して大量の雨が降るゲリラ豪雨が全国各地で発生しているかと思えば、四国地方などでは反対に幾日も続く濁水があつたりと、水を治め利用していくことは、ますます困難を伴うようになってきています。

国土交通省では、災害を未然に防ぐ対策は鋭意進めておりますが、重大な災害発生時、または災害が発生する恐れがあるときに、効率的かつ円滑に被災地等の支援を行うため、本年5月、「テックフォース(緊急災害対策派遣隊)」を立ち上げました。6月に起きた岩手・宮城内陸地震や、9月の西濃地域集中豪雨の際にも、地方公共団体からの要請を受けて出動したテックフォースの働きにより、速やかに危険箇所の把握がなされ迅速にその対策が施された結果、二次災害を最小限に留めたものと考えております。

今号の「みずしるべ」は、9.28災害を振り返るなど、防災を中心にすえた特集号と致しました。新丸山ダム工事事務所においては、今年が9.28災から25年に当たることを契機として、新丸山ダムの早期完成に向け取り組んでまいりたいと考えます。

なお、今号からは印刷物での配布からホームページを中心とした配信に切り換えさせていただきました。今後は事務所ホームページの利便性などを高めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/>